

## 史跡 大船遺跡

(読み方) しせき おおふねいせき

(英語) Ofune Site

### 【所在地】

北海道函館市大船町

### 【年代】

紀元前 3,500 年～紀元前 2,000 年 (約 5,500～4,000 年前)

### 【キャッチコピー】

祭祀場が発達した拠点集落

### 【説明文：96字】

太平洋をのぞむ段丘上に立地する拠点集落。竪穴建物、貯蔵穴、墓、盛土などが配置されている。祭祀場である大規模な盛土には、大量の土器・石器などが累積し、祭祀・儀礼が継続して行われていたことを示す。

### 【説明文：150字】

太平洋をのぞむ段丘上に立地する拠点集落。深さ 2 m を超える竪穴建物や貯蔵穴、墓、盛土などがある。祭祀場である盛土には、土器・石器などが累積し、祭祀・儀礼が継続して行われていたことを示す。クジラ、マグロなどの海獣骨や魚骨、クリやクルミなどの堅果類も出土し、沿岸地域における生業と精神文化を示す遺跡である。

### 【説明文：229字】

太平洋をのぞむ段丘上に立地する拠点集落。竪穴建物、貯蔵穴、盛土、墓などの施設が分離して配置されている。竪穴建物は床を深く掘り込んだものが多く、深さ 2 m を超える大型のものもある。祭祀場である大規模な盛土には、膨大な量の土器・石器、焼土などが累積し、長期間にわたって祭祀・儀礼が行われていたことを示す。このほか、クジラやオットセイなどの海獣骨、マグロやサケなどの魚骨、クリやクルミなどの堅果類なども出土し、沿岸地域における生業と精神文化を示す重要な遺跡である。